

	ねらい ・友達とルールのある遊びを楽しむ ・天気に対するイメージを広げる		クラスの状況 ・てるてる坊主を作るなどして、天気に親しみを持つ。 ・「台風ビュー」などとイメージを言葉にする子どもがいる。 ・体を動かして遊ぶことを楽しむ。
	中心となる活動 ゲーム『お天気バスケット』		
	時間	環境構成	予想される子どもの活動
	8:30		○順次登園 ・友達や保育者、実習生に元気よく挨拶をする。 ・自ら所持品の始末を行う子どもが多い。保護者と一緒に行う子どももいる。 ・所持品の始末を終えた子どもは、保育室内で自由に遊ぶ。ブロックや絵本を見て過ごす。
	9:00		○朝の集まり ・自分たちの使っていた玩具を積極的に片付ける。 ・当番を中心に整列する ・保育者や友達に挨拶をし、日付と予定を確認する。 ・「とんがり体操」、「OLA！」を楽しみながら踊る。 ・当番を中心に「むすんでひらいて」に合わせて、模倣遊びを行う。
	9:30		・歌「せんせいおはよう」を歌う。元気のいい大きな声で歌う子どもがいる。 ・ロッカーの前で座り、実習生が机を並べ終わるのを待つ。 ・実習生の声かけに対し、椅子を準備し、着席する。お茶を飲み、水分補給をする。 ・名前を呼ばれたら、元気よく「はい」と返事をする子どもが多い。 ・トイレに行きたいと排泄をする子がいる。
	10:00		○制作「お天気カード」 ・天気予報で台風を見たという子どもがいる。「雨は嫌い」という子どもがいる。 ・「どんな遊びするの？」という子どもや、「そのカードでどうやるの？」という子どもがいる。「可愛いカードだね」と友達と話す子どもがいる。 ・「フルーツバスケットなら知ってる」と安心そうな顔をする子どもや、「知らない」と不安そうにする子どももいる。
	10:05		・「はい」と返事をし、クレヨンを準備しに行く。「はやく描きたいね、遊びたいね」とい話す子どもがいる。 ・「太陽がいいー」と手をあげる子どもが多い。曇りや雨のカードを作りたいという子どももいる。 ・傘でもいいよと納得する子どももいる。変えたくないという子どももいる。
	10:15		・自由に自分の決めた天気の絵を描き始める。 ・順調に描きあげ、「できたー」と喜ぶ子どもがいる。違うものを描く子どももいる。 ・書き終わった子どもは、クレヨンを片付け、椅子を持ち、ロッカーの前で待つ。 ・椅子に座り、楽しく友達同士で話す子どもがいる。
	10:25		○ゲーム「お天気バスケット」 ・仲のいい友達と隣同士になり楽しそうに椅子を並べる子どもがいる。椅子を逆に並べてしまう子どももいる。 ・自分のカードを確認しながら手をあげる。手をあげない子どももいる。
	10:30		・実習生の呼びかけに対して、立ち上がる。うまく椅子を交換できる子どもがいる。その場で再び座ってしまう子どももいる。わからないという子どももいる。
	10:40		・うまく椅子を移動し、ゲームを楽しむ子どもがいる。何度もオニになってしまう子どももいる。
			援助の留意点 ・健康観察のために、子どもに挨拶をする。 ・子どもの所持品の始末を見守る。援助が必要であれば、子どもの自主性を大事にし、手を出しすぎないようにする。 ・玩具の準備を、子どもが遊びやすいように保育室の真ん中に準備する。 ・使っていた玩具の片付けを促す。実習生も協力して片付ける。 ・子どもたちと一緒に手を合わせ挨拶し、日付と予定を確認する。 ・子どもが踊りやすいように、大きな動きで踊る。 ・ピアノで伴奏し、模倣遊びのために 当番を指名する。 ・ピアノで伴奏をする。歌いやすく、速度を考えて弾く。 ・出欠を取るために机を準備する。子どもにぶつからないように、声をかけながら準備をする。机を並べ終わったら、子どもたちに、椅子を持ってきて座るように伝える。水分補給を促す。お茶を準備する。 ・全員が座ったことを確認し、出欠を取る。元気よく返事をした子どもには、「元気でいいね」と褒める。 ・トイレに行きたい人がいないか確認し、排泄を促す。手をきちんと洗うように伝える。 ・天気の話をする。最近台風がよく来るので、風や雨、雷が激しくて怖かったというような話をする。 ・「今日は天気に関する遊びがしたいなあと考えて、まず、みんなで『お天気カード』というのを作ろうかなと思います」とお天気カードを手に持ち説明する。 ・「フルーツバスケットという遊びを、ちょっと変えて、お天気バスケットにして遊びたいと思うんだけど、知ってるかな？」と尋ねる。知らないという子どもには、少しずつ説明するから安心するように伝える。 ・「まずはみんなで画用紙、この髪に絵を描いていこうと思うので、クレヨンを準備してください」と伝える。クレヨンを準備している間に、テーブルごとに人数分の画用紙を配る。 ・全員が着席し、クレヨンを準備し終わったことを確認し、話を始める。 ・「今日は、晴れ、の太陽さん、曇りの、雲さん、雨の傘さん、3つのカードを作りたいと思います。今日は、全員で〇〇人いるので、太陽さん〇人、雲さんを〇人、傘さんを〇人に描くことをお願いしたいんだ」と伝え、その後、太陽を描きたい人などと質問し、人数を把握する。人数が合わない時は、「傘を描くのが少し難しいから、5歳児クラスさんにお願ひしようかな」と話をしてみる。どうしても変えたくないという子どもには、そのままでもいいことを伝える。 ・それぞれが何を描くか決まったら、描き始めるように声をかける。 ・上手に描けるねと褒め、嬉しい気持ちを共有する。 ・書き終わった子どもには、クレヨンを片付けるよう声をかけ、椅子をもって、ロッカーの前に座って待つよう伝える。 ・描き終わらない子どもがなにか困っていないか声をかけたり、様子を見守ったりする。 ・全員が描き終わった机から、順番に片付けていく。子どもにぶつからないよう気をつけて行う。 ・個々に個人差はあるが、集団なので、様子をみながらみんなが同じぐらいに終わるよう声かけていったほうが良い(活動の流れが止まってしまっていた)。 ・机を片付けゲームの説明をする。 ・「まずみんなの椅子をまるく、お部屋に並べたいと思います。先生が真ん中に立つので、先生が見えるように座ってください」と伝える。逆向きに椅子を並べる子どもには、「そうやって座って先生見える？」と穏やかに伝える。 ・椅子を並べ終わり、全員が座ったところで話を始める。「みんな自分のカードちゃんと覚えているよね？ 太陽のカードの人」という具合に、曇りと雨も確認する。 ・「次は太陽の晴れのカードの人、立ち上がってください」と伝える。そして、立ち上がっている友達同士、移動して、座る椅子を交換するように声をかける。スムーズに行かなければ、実習生も一緒に動いて確認をする。曇とも同様に行い、練習をする。 ・一通り練習を終えたところで、実際にゲームを始める。最初は実習生が鬼をやリ、椅子が人数よりひとつ少ない状況を作る。椅子に座れなかった人はオニとなり、「晴れ」か「曇り」か「雨」とみんなに聞こえるようにいって、言われた天気のカードを持っている人は席を移動するというルールを伝える。「台風」と言われたら、全員が移動するということを伝える。

		<ul style="list-style-type: none"> ・転んでしまう子どもがいる。 ・椅子の取り合いになってしまう子どもがいる。話し合いや先に座っていた方の椅子だと主張したり、じゃんけんで決めたらいいというような提案をする子どもがいる。 ・ルールのある遊びを楽しむと同時にルールを守ることの大切さもあります。オニがやりたくて座らない子に対して声かけをした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転んでしまった子どもには、大丈夫か確認をとる。 ・椅子の取り合いになってしまったときは、みんなでどうすればいいか考えることができるように声をかける。 ・オニに3回なった人は、好きな動物や色などのインタビューを受けるといものや、遊びの放すをみながら、「晴れのち曇り」など2つの天気と言うようなルールの追加を行い、楽しめるようにする。 ・子どもの様子と時間を見て、余韻を残しながらゲームを終わりに導く。
10:50		<ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしそうにしながらもインタビューに答える子どもがいる。 ・追加ルールに対して、うまくできるか不安そうな子どもがいる。 	
11:00		<ul style="list-style-type: none"> ・まだやりたいという子どもがいる。すこし飽きてしまっている子どももいる。 ・「持ち帰りたい」という子どももいる。「いらない」という子どももいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう1回やりたいという子どもには、さいごに3回オニになった人がでたら終わりにしようかと伝える。 ・お天気カードは、持ち帰りたいと子どもたちが言ったら、持ち帰ってもいい。そうでなければ回収する。
11:10		<ul style="list-style-type: none"> ・ロッカーの前で楽しかった、難しかったと楽しそうに話をする子どもがいる。 ・排泄をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに椅子をもってロッカーの前で待つように伝え、昼食のために机を準備する。机を拭く。歯ブラシの準備をする。 ・排泄を促す。
11:20		<ul style="list-style-type: none"> ○昼食 ・手洗いを済ませる。 ・昼食の準備をする。自ら箸やフォークなどを準備し席に着く ・当番を中心に、『きゆうしよくのうた』を歌い、「いただきます」の挨拶をする。 ・友達や保育者、実習生と話をしながら楽しい雰囲気食べる。 ・食べ終わった子どもから箸などを片付け歯磨きを行う。 ・中々食べ終わらない子どもがいる。 ・はみがきを終えた子どもは、それぞれがパズルをしたり、絵本を読んだりしながら静かに過ごす。 ・遊んでいた玩具を片付ける。午睡の準備を行う。 ・排泄を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いを促し、箸などを準備するように伝える。 ・机に配膳をしていく。 ・ピアノで伴奏をし、子どもたちと一緒に「いただきます」の挨拶をする。 ・「美味しい？」などと子どもに声をかけ、穏やかな雰囲気を作る。 ・はみがきの点検を、磨き残しのないように行う。 ・完食できるように食べる様子を見守る。 ・片付いた机から、布巾で拭き、机を片付ける。遊ぶ様子を怪我のないように見守る。 ・午睡の時間になるため、子どもたちに片付けを促す。 ・排泄を促す。
12:20		<ul style="list-style-type: none"> ○絵本『モネの絵本』を見る ・「お化け怖い」と怖がってしまう子どもがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽の光に関心を持てるように、『モネの絵本』を読む。 ・「見ていけばお化けじゃないこともわかるよ」と声をかけ、安心できるようにする。
12:30		<ul style="list-style-type: none"> ・「きれい」と色を見て言う子どもや、「なんかぐちゃぐちゃしてる」と不思議に思う子どももいる。 ○午睡 ・4,5歳児クラスの保育室に準備された布団で眠る。すぐに眠ってしまう子どもや、なかなか寝付けない子どももいる。 ・途中で目覚めてしまう子どもがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「太陽の光によって見え方が違うんだってさ」と伝え、子どもの気持ちを確認する。 ・よく寝付けるように背中をトントンしたり、優しい表情をし、ゆったりと眠れるようにする。 ・子どもの眠る様子を見守る。目覚めてしまった子どもには、背中をトントンしながら、眠りを促す。
15:00		<ul style="list-style-type: none"> ○起床 ・すぐに起床し、排泄と手洗いを済ませる子どもがいる。なかなか起きることができない子どももいる。 ○間食 ・椅子を自ら準備し、好きな場所に座る。 ・当番を中心に「おやつのはら」を歌い、「いただきます」の挨拶をする。 ・「美味しいね」と友達と話しながら楽しい雰囲気食べる。 ・おかわりを求める子どもがいる。 ・食べ終わった子どもからはみがきをして、その後は、静かな雰囲気の中で絵本を見たり、あやとりをしたりして過ごす。 椅子を自ら片付ける子どもがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの、起床、排泄、手洗いを促す。なかなか起きない子どもに声をかけながら布団を片付ける。 ・間食のための机を準備する。 ・お茶、おやつを配膳する。子どもに椅子を準備するよう声をかける。 ・ピアノで伴奏をする。歌を歌い、子どもたちと一緒に「いただきます」の挨拶をする。 ・「美味しい？」と声をかけ、和やかな雰囲気を作る。 ・おかわりを配る。よく食べる姿を嬉しそうに褒める。 ・全員が食べ終わった机を台ふきで拭く。食べたばかりで激しい運動をするとうつらなくなってしまふかもしれないので、静かに遊ぶように声をかける。椅子の片付けを促す。
15:30			
15:50		<ul style="list-style-type: none"> ○帰りの集まり ・今日1日の振り返りをし、明日の予定を確認する。 ・「さよならのうた」「おかえりのうた」を歌い、「さようなら」の挨拶を元気よく行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員に聞こえるように、実習生のまわりに集まるよう声かけし、1日の振り返りの話をする。 ・ピアノで伴奏をし、子どもたちと一緒に「さようなら」の挨拶をする。 ・「また楽しく遊ぼうね」など、子どもが保育園に来たくなるような声かけをする。
16:00		<ul style="list-style-type: none"> ○順次降園 ・保護者と一緒に降園する子どもがいる。「さようなら」と元気よく挨拶をする。 ・延長保育の子どもは2,3歳児クラスの保育室に移動し、好きな遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と子どもに挨拶し、保護者と子どもを送り出す。 ・延長保育の子どもに声をかけ、移動を促す。